

2011年1月28日

関係代理店各位

ソーラーフロンティア株式会社
国内営業本部長 小山征弘



【ご連絡】霧島山・新燃岳噴火の太陽電池への影響と対応について

急啓 2011年1月27日の午後に発生した霧島山・新燃岳噴火により宮崎県・鹿児島県の広域にわたり大きな被害が出ているとの報道に驚いております。貴社ならびに関係の皆様方におかれましてはいかがでしょうか。被害の最小でありますことを心よりお祈りいたします。また、太陽光発電システム設置のお客様からも不安や問合せが貴社にあらうかと推察いたしますので、弊社の見解を下記記載させていただきます。たいへんな事態に御苦勞も多いと存じますが、皆様におかれましてはご自愛されますよう切にお祈り申し上げます。まずは書中をもちましてお見舞い申し上げます。

早々

記

【火山灰による太陽光発電システムへの影響について】

- 微粉末火山灰が太陽電池モジュール（パネル）に堆積した場合、発電量は減少しますが、太陽光発電システムが直ちに故障することはありませんのでご安心ください。
- 火山灰が強酸性であり、かつ長期にわたり堆積した場合には接続箱などの腐食の可能性はあります。
- 弊社の太陽電池モジュールの表面には熱処理（半強化）ガラスを使用しておりますので、自動車の窓ガラスと同等以上の強度を有しております。しかしながら、火口付近の地域にて大型の噴石がモジュールを直撃した場合、破損の可能性はあります。

【噴火・噴煙継続中のご対応のお願い】

- 太陽電池モジュールが屋根上に設置されているケースでは高所での作業となるため、火山灰の除去作業は極めて危険と判断します。また、火山活動が継続している状態において太陽電池モジュール上の火山灰を除去してもその後の堆積が想定されます。このため、噴火・噴煙継続中においての除去作業はなさないようお願いいたします。
- パワーコンディショナーの停止などの操作も必要ありません。
- 太陽電池モジュールにブルーシートをかけるなどの措置を講じられても太陽光発電システムが故障することはありません。しかしながらシートをかけた状態でも大型の噴石が直撃した場合は破損を十分に防止できるものではありませんので、当該措置を奨励するものではありません。
- なお、太陽電池モジュールの破損・損傷を確認された場合には運転を停止する事が望ましいので、お客様より破損の連絡がありましたら、接続箱内のスイッチにて運転を停止いただき、弊社にもご連絡をお願いいたします。

なお、問合せ等がございましたら下記にご連絡いただけますようお願い申し上げます。
ソーラーフロンティア(株)お客様コールセンター（担当：佐藤・清水・藤井・背戸）
TEL. : 03-5531-5857（平日 9:00～17:30 の稼働となります）